

9. 胸郭の上下動とバッグを押したときの抵抗により換気の評価をしたか

自発的に口述しない場合は、評価者が「適切な換気ができているかどうかの評価はどうしますか？」と問いかけ、「胸郭の上下動」「バッグを押したときの抵抗の変化」「呼気によるマスクの曇り」のうち一つ以上答えられれば1点。

10. 酸素が送られていることを確認したか

リザーバーが膨らんでいることを確認できれば1点。自発的に口述しない場合は、評価者が「酸素が送られているかどうかの評価はどうしますか？」と問いかけ、上記を答えられれば1点。

●模擬医師が「背板を入れるので頸部を保護して持ち上げる合図をして」と指示する

11. 背板挿入の際の頸部の保護

受験者が両手掌を人形の肩の下に入れて人形の頭を両前腕に乗せて腋を締め、「ではいいですか。1・2・3」と合図して持ち上げれば2点。首を支えようとする意思が認められれば1点。全く気にしない場合0点。

●模擬医師が「AEDが到着したから装着してスイッチを入れて」と指示する

12. 自動体外式除細動器（AED）の装着は適切か

AEDの電源を投入しパッドを図示どおりに人形に装着できれば1点。

13. 酸素（バッグバルブマスク）を遠ざける

放電の際、バッグバルブマスク酸素を遠ざけていれば1点。そうでない場合（バッグバルブマスクを患者の頭部付近に放置）は0点。

14. 目視による安全確認

AEDの音声指示（「患者から離れてください」）に加えて目視で安全確認を行えば1点。目視確認をせずに放電ボタンを押せば0点。

15. AEDの放電操作は迅速だったか

AEDの指示通りに遅れなくボタンを押すことができれば1点。

※これらの項目を自動測定できるシミュレーターによる客観的評価を用いることが望ましい。



